

費用負担のパターンの転換、マンパワー政策確立の重要性などである。またこの間、企画庁の作業と並行して、厚生省においても長期計画の準備がすすめられた。11月の研究会ではこれを取りあげ、蔵田直躬氏から経過報告および計画の考え方、目標水準などが報告された。

9月の「中小企業退職金共済事業団の現状について」(報告者、山下不二男)では、被共済者数の伸び率の鈍化、労働移動の高まり、インフレおよび金利低下による

財政の悪化など、中退金の直面している諸問題などが報告された。

その他、10月の「厚生年金保険制度の今後の方向」(報告者、小山路男)では、社会保険審議会の意見書をめぐって、また、12月の「難病特定疾患対策について」(報告者、仲村優一)では、社会保険医療と公費負担医療の関連について議論された。

社会保険研究所日誌 (1972. 10~12)

- 昭和47. 10. 19 第4研究会(第5回)報告内容「ティトマス著『社会福祉と社会保障』第4部I~III章について」報告者 研究員 山崎泰彦
10. 20 山田所長, ISSA 常任委員会(スイス・ジュネーブ)出席および欧州各国視察を終え帰国
10. 23~10. 26 第8回社会保障研究所基礎講座開催(都道府県会館)
10. 26 定例役員会開催(第83回)
10. 31 第2研究会(第5回)報告内容「高齢者の収入源泉別家計構造」報告者 研究員 大本圭野
- 同 第6研究会(第6回)報告内容「年金制度の今後の方向」報告者 専門委員 小山路男
- 同 ISSA 文献委員会
11. 1 第7回社会保障研究奨励賞推薦論文最終審査会(於第一ホテル)
11. 2 第1研究会(第6回)報告内容「保健費用の国際比較」報告者 研究員 城戸喜子
11. 7 昭和47年度大内賞推薦論文授賞者表彰式(第2席2名, 一圓光弥, 山崎泰彦)
11. 11 掛川高齢者世帯調査報告会(掛川市にて)
11. 14 第5研究会(第6回)報告内容「フランスの1967~68年改革をめぐる各界の意見」報告者 中央大学助教授 工藤恒夫
11. 21 第5研究会(第7回)報告内容「医療保険と医療サービスの国際比較」報告者 国立公衆衛生院 前田信雄
11. 21 第4研究会(第6回)報告内容「ティトマス

著『社会福祉と社会保障』—医療の倫理と経済について」報告者 研究員 都村敦子

11. 28 第6研究会(第7回)報告内容「長期構想について」報告者 厚生省審議官 蔵田直躬
11. 30 第3研究会(第5回)報告内容「イギリスの社会福祉行政の動向」報告者 関東学院大学助教授 市瀬幸平
12. 5 第2研究会(第6回)報告内容「同居高齢者の小遣帳の分析」報告者 山脇学園短大 杉原由機
12. 7 顧問会(第10回), 役員会(第84回), 大内基金委員会開催(於福田屋)
12. 11 第5研究会(第8回)報告内容「社会保険論の展開」報告者 慶応義塾大学教授 庭田範秋
12. 14 第1研究会(第7回)報告内容「西ドイツの年金改革」報告者 研究第1部長 保坂哲哉
12. 14 第4研究会(第7回)報告内容「経済厚生と外部効果」報告者 理事 馬場啓之助
12. 18 専門委員会「昭和48年度研究プロジェクトについて」(於ホテル・ニュージャパン)
12. 19 第2研究会(第7回)報告内容「社会的福祉の指標」報告者 東京大学助手 直井 優
12. 21 台湾中央信託局主任, 呉凱勳氏来所, 山田所長および山崎総務部長と懇談
- 同 第6研究会(第8回)報告内容「特定疾患対策について」報告者 厚生省公衆衛生局特定疾患対策室長 仲村英一
12. 26 第1研究会(第8回)報告内容「年金の経済分析」報告者 経済企画庁経済研究所主任研究官 市川・洋